

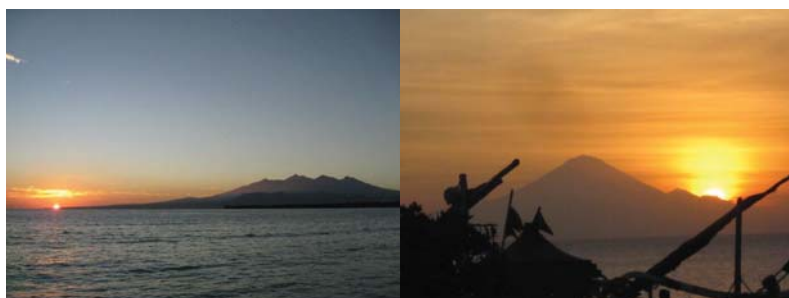
バリ&ロンボク・レポート

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

第42号 2013年8月発行



今年は先月7月10日から始まったイスラム教の断食月(ラマダン)が今月8月8日に終わります。断食明け大祭(レバラン)は、花火をあげたりするお祭り騒ぎとなりますが、8月8日、9日の2日間です。今年はこの時期と重なり、インドネシアは全国的に8月3日(土)から11日(日)までの9日間は長期休暇となりますので、帰省や旅行する人達が増え交通機関(航空機、船、電車・バス等)は非常に混雑します。ロンボクでもジャカルタやスラバヤへ出稼ぎ等に行っていた人達が多く帰省し、賑やかになります。日本人がインドネシアのリタイアメントビザを取得しインドネシアに住む場合、滞在中はインドネシアの家政婦さんを必ず雇用しなければなりません、家政婦さん達も長期休暇となります。雇い主はこの家政婦さん達にレバラン手当(基本は1ヶ月分給与)を支給することが約束事です。



ロンボク島ギリ・メノの日の出
ラマダンでは1日の断食の始まり

遠くバリ島アゲン山に沈む太陽
ラマダンでは1日の断食の終わり

インドネシアにある企業は、レバラン時期の長期休暇を宗教に関係なく休みにしており、また従業員に対してはイスラム教徒に関係なく手当を支給するので、出費の多い時期ともなります。

このレバランに向けての準備には出費がかさむことから、強盗や窃盗の犯罪が

増える傾向なので、この時期にインドネシアに滞在する方はいつも以上に注意が必要です。

ちなみに来年のラマダンは、イスラム暦の1年が354日ですのでまた11日早まって6月28日から7月27日までの予定です。

筆者も過去に、このラマダン時期にロンボクに滞在したことがありましたが、昼間に出歩いても殆どの店は閉まっており、昼食を食べるにも非常に不便でしたが、ロンボク州都マタラムにマクドナルドやケンタッキーフライドチキン等の店があり、昼間はブラインド等で外から見えない様にし、営業していました。

筆者も利用しましたが、断食の人達に配慮しての昼食でした。健康なイスラム教徒の断食は、日中は食べ物や飲み物を摂取出来ず、日没から日の出までの間に1日分の食事を摂ることになります。よって夜の食事は多くなり、特に米類や脂っこい物を多く食べるので、この時期はかえって太ってしまう人が多いようです。イスラム教徒は断食の試練があって大変ですね。

マリーン・スポーツが満喫できるギリ・メノに一度はお越してください。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/> Casablanca

のお問い合わせは、 shimaint@r4.dion.ne.jp へ



ロンボク・メンティグにあるモスクとその内部
内部中心部の窪みがミフラーブで
ロンボクから丁度西方向のメッカをさす



ロンボク州都マタラムにある
一番大きいマタラム・モール
マクドナルドの店が入る